

---

# 新設農学系学部における 農業経済学教育

小山良太

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

農学群食農学類準備室

経済経営学類

日本学会議連携会員

---

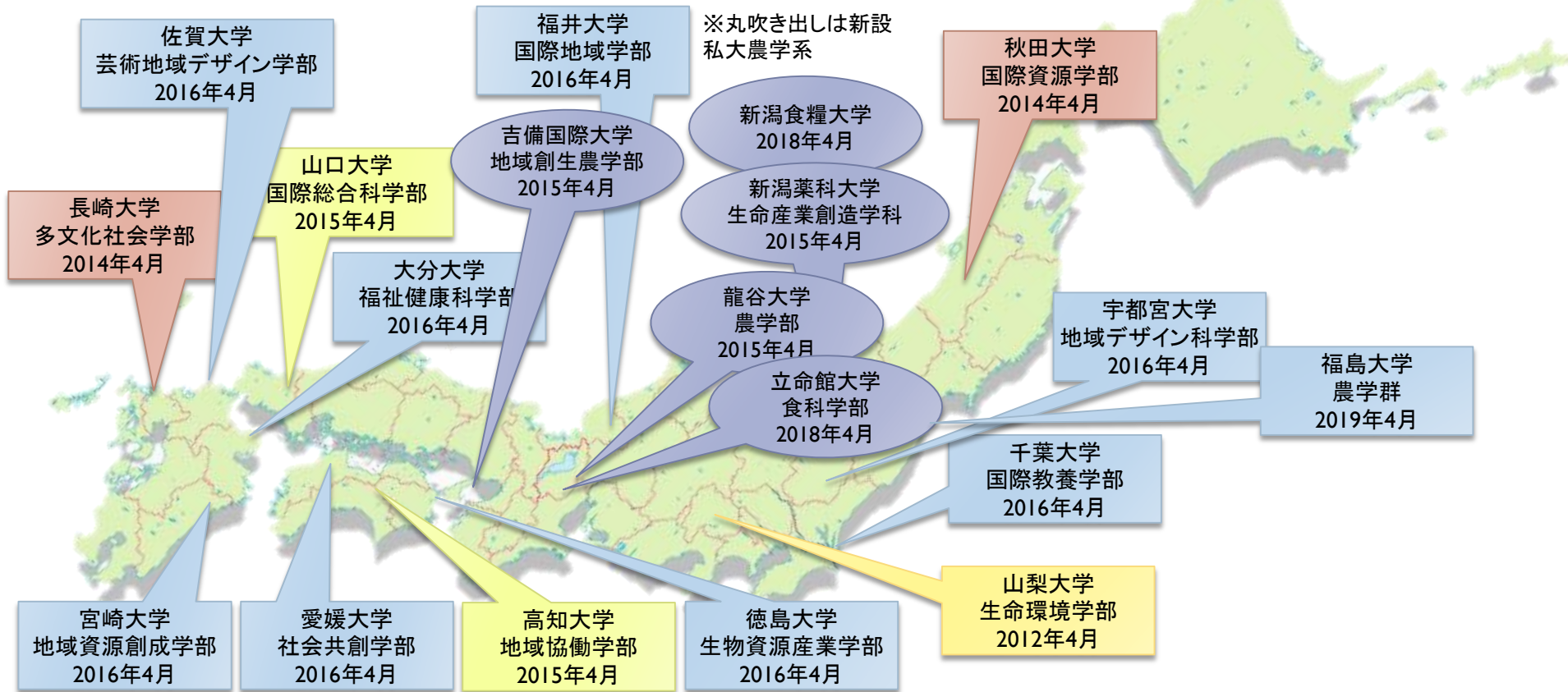


# 学部再編、新学部（主に国公立）

- ▶ 高知大学 地域協働60人(2015)、農林海洋科学200(16)
- ▶ 徳島大学 生物資源産業100(16)
- ▶ 愛媛大学 社会共創180(16)
- ▶ 宇都宮大学 地域デザイン科学140(16)
- ▶ 宮崎大学 地域資源創成90(16)
- ▶ 福島大学 農学群食農学類100(2019)
  
- ▶ 茨城大学 農学部地域食生命科学80総合農学科80(17)
- ▶ 新潟大学 農学部農学科175(17)
- ▶ 龍谷大学農学部400人(15)
- ▶ 立命館大学食科学部320人(18)
- ▶ 新潟食料農業大学180人(18)

# 国立大学再編の現状と私大農学系学部新設の動き

- ・国立大学では2012年度から今年度までは5つの学部が、また、来年度だけで8つの学部の新設が予定されている。ex) 徳島大学は地域の農林水産業を支援する「生物資源産業学部」、宇都宮大学は人口減少などの地域課題に取り組む「地域デザイン科学部」
- ・私立大学でも農学系新設の動きが活発になっている。ex) 35年ぶりの“農学部”新設である龍谷大学、新潟県では先の資料のように相次いで2箇所（学科・大学）が開設（予定）



# 新学部（国公立）の特徴（2015~）

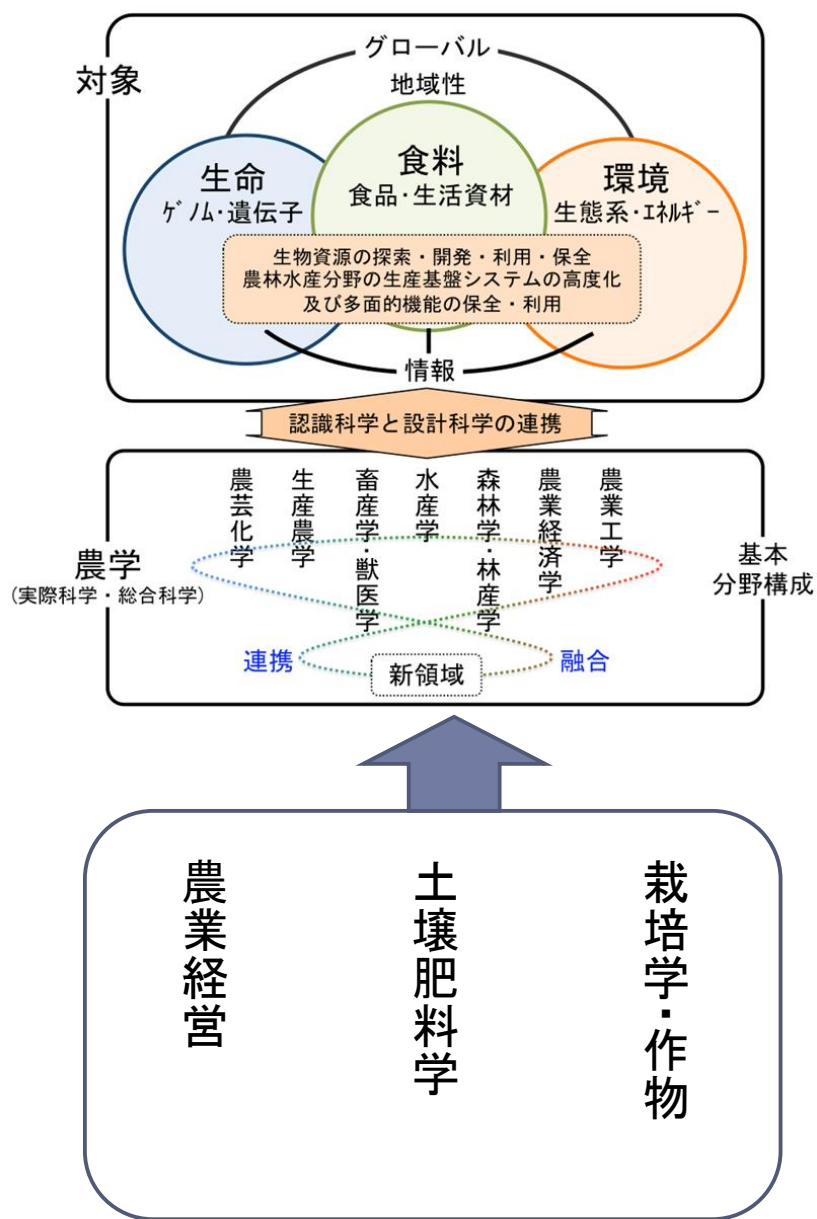
---

## 【背景】

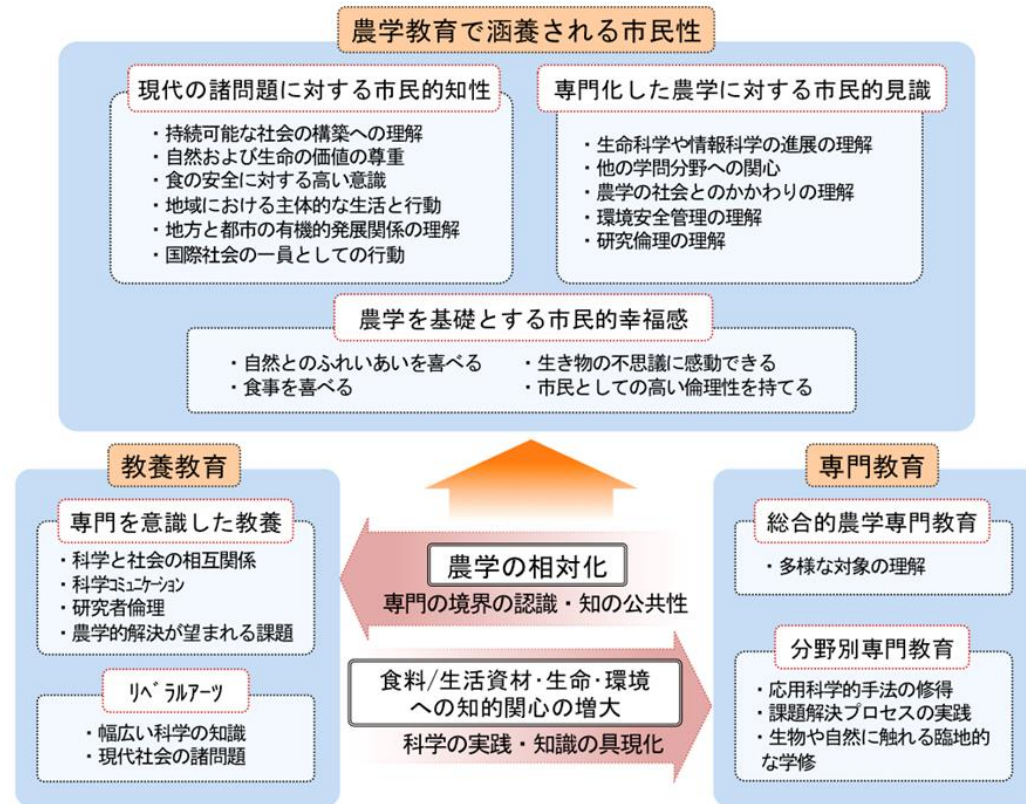
- ▶ 教育学部 ゼロ免過程の廃止  
（体育、音楽、美術、家庭）
- ▶ 理学部・工学部 再編（国公立：自然科学系へ）
- ▶ I学部I学科（教員組織の一本化、学科自治の廃止）

## 【特徴】

- ▶ 地方創生・地域学、食産業・食科学、農業生産システム
- ▶ アグリビジネス、フードシステムの要素の組み込み
- ▶ 既存の学問体系への回帰（①作物栽培、②生産土壌、③農業経営）と④食品科学を別建て



# 農学の定義、 専門教育・教養教育としての農学



出典：日本学術会議農学委員会・食料科学委員会合同農学分野の参照基準検討分科会『報告  
大学教育の分野別保証のための教育課程編成  
上の参照基準 農学分野』平成27年5月。

# 食農学類(仮称)カリキュラム体系イメージ

1年

2年

3年

4年

1S

2S

3S

4S

5S

6S

7S

8S

教養・農学基礎課程(54単位)

食農教育課程—専門を基礎とした実践的農学—(70単位)

共通教育(22)

英語(6)

情報処理(2)

選択科目(14)

「生命の科学」「環境の科学」(理工学類提供)

「食と農の科学」(食農学類提供)

「地域論」、「原子力災害と地域」(経済学類提供)他

専門領域 基礎科目(24)

学群リテラシー科目(8)

「基礎生物」「基礎化学」  
「基礎数学」「基礎統計」

応用的内容(10)

「農芸化学の基礎」  
「作物学の基礎」  
「人類と農業の歴史」  
「農業と経済・統計」  
「現代フードシステム」

農学リテラシー基礎科目(6)

「農業と環境」「食の安全」  
「フィールド農学」

※理工学類との共通開講を想定。

理工学類生にも関心の高いテーマを設定

※食農学類生の農学への

入口としてテーマ設定

農学フィールド農場実習(8)

(1年次通年 木曜午後[3・4限])

(3S実施)

基礎学習(「作物とは何か」、「土とは何か」等)

+

「栽培実習」(米・モモ・畜産等)

「加工販売実習」(収穫・選別・検査等)

学外をフィールドと  
した演習

食農教育プログラム

「農学英語演習」(2)

農学専門教育(44)

A:食品科学

講義

B:作物・栽培学

実験

C:循環・環境科学

D:農業経営経済学

実習

ゼミ(研究室)配属

共に必修  
※専門知と  
実践力の融合

専門演習(4) → 卒論演習(4)、卒業論文(4)

地域課題に深くアプローチするための専門的研究手法を学ぶ(火曜午後[3・4限])

農学実践型教育(12)

地域課題解決型プロジェクトと一体的に展開

(金曜午後[3・4限]+夏期集中)  
4領域横断でチームを編成し、  
地域課題を析出したプロジェクトに取り組んでいく

課題解決型プロジェクトテーマのキーワード

医農連携と多業型農村振興 / 発酵食品と納豆地産地消  
/ 先端農業・ICT / 有機農業の体系化 / ワイン産地形  
成と付加価値形成 / 風評対策と安全認証システム /  
里山除染とバイオマス など



# 農学実践型教育

## 1. “原子力災害からの地域農業再生”プロジェクト群

- ①「放射能汚染対策と地域再生プロジェクト」
- ②「森林除染・バイオマスエネルギープロジェクト」
- ③「里山再生・地域資源活用プロジェクト」

## 2. “地域ブランド・食の安全”プロジェクト群

- ①「食の安全・風評対策プロジェクト」
- ②「福島ワイン・6次産業化プロジェクト」
- ③「世界へ羽ばたけ！ 福島の日本酒プロジェクト」
- ④「発酵食品・大豆・納豆地産地消プロジェクト」

## 3. “もうかる農業・先端技術の確立”プロジェクト群

- ①「先端農業・ICTプロジェクト」
- ②「医農連携・多業型農村振興プロジェクト」
- ③「有機農業プロジェクト」

# “発酵食品・醸造学”プロジェクト群

## 「福島ワイン・6次産業化プロジェクト」

納豆消費量日本一の福島市  
味噌・醤油・醸造関連企業＝グローバル化に強い  
日本酒：金賞受賞数日本一

### <取り組む課題(4領域)>

#### 農業経営学領域 (六次産業化・食農連携研究室)

- ・酒造好適米生産の経営モデル
- ・発酵食品関連産業連携づくり
- ・郷土料理との融合をめざすイベント企画



#### 作物・栽培学領域 (果樹研究室)

- ・品種の改良
- ・栽培技術の改良
- ・気象データ観測と収穫適期判定



#### 食の科学領域 (発酵・醸造学研究室)

- ・醸造技術の改良
- ・発酵食品の開発
- ・飲料や食品の開発



#### 循環・環境学領域 (農業環境工学研究室)

- ・堆肥熱を利用した育苗施設の加温技術の開発
- ・酒蔵の景観づくり
- ・放射性物質の循環・動態解明

